

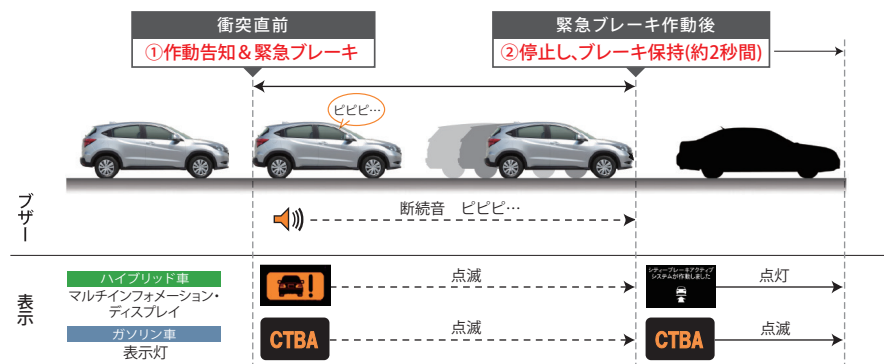
「Safety for Everyone」をスローガンに、乗員はもとより、相手車両や歩行者にも配慮。

前走車への追突や誤発進の未然防止をサポートするシティブレーキアクティブシステム(タイプ別設定)

低速域衝突軽減ブレーキ

フロントウィンドウに設置したレーザーレーダーにより前方障害物を検知。30km/h以下で走行中に、追突の恐れがあるにも関わらずブレーキ操作が行われなかった場合、音と表示による警報とほぼ同時に自動的にブレーキをかけ、追突の回避または被害軽減を図ります。

■作動イメージ



誤発進抑制機能

停車または10km/h以下で走行中、前方に障害物があるにも関わらずアクセルペダルを踏み込んだ場合、音と表示による警報とともに、パワーシステム出力を抑制し、急な発進・加速を防ぎます。

【あんしんパッケージをタイプ別設定】

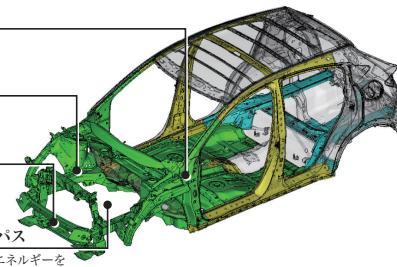
スティブレーキアクティブシステム、前席用i-サイドエアバッグシステム〈容量変化タイプ〉+サイドカーテンエアバッグシステム〈前席／後席対応〉

相手車両の安全まで視野に入れた衝突安全設計ボディ

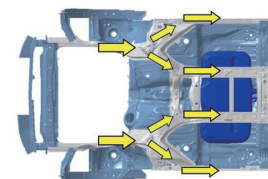
Honda独自のGコントロール技術により、「自己保護性能の向上」と「相手車両への攻撃性低減」を両立するコンパティビリティ対応ボディを採用。前面衝突時に広い面で衝撃を受け止めるとともに、大断面フロアフレームをストレートに配置した高効率フロアロードパス構造によって、衝突エネルギーを効率よく分散・吸収します。

■コンパティビリティ対応ボディ説明図

- **アッパーフレーム**
上部のエネルギー吸収
 - **メインフレーム**
高効率なエネルギー吸収
 - **バンパービーム**
衝突荷重をメインフレームに
効率良く伝達
 - **パワープラントロードパス**
パワープラントから入力するエネルギーを
サブフレームで吸収
- 



■高効率フロアロードパス構造説明図



衝撃吸収構造による、歩行者傷害軽減ボディ

万一の事故時に歩行者にダメージを与えやすいボディ前部に、衝撃を和らげる歩行者傷害軽減ボディ構造を採用。ボンネットヒンジ部、フロントウインドウ支持部、ワイパー、バンパー、フェンダーなどを衝撃吸収構造としています。

【充実した先進安全機能】

- VSA(車両挙動安定化制御システム) ●Motion Adaptive EPS ●EBD(電子制御制動力配分システム) 付ABS ●エマージェンシーストップシグナル ●ヒルスタートアシスト機能 ●車両接近通報装置(ハイブリッド車) ●LEDヘッドライト(タイプ別設定)

【全タイプに採用した衝突安全装備／構造】

- 運転席用i-SRSエアバッグシステム(連続容量変化タイプ)●助手席用SRSエアバッグシステム ●ront3点式ロードリミッター付シートショルダERシートベルト ●フロントジャストブルシートベルトショルダアンカー ●リア3点式ロードリミッター付ELRシートベルト(左右席) ●リア3点式ELRシートベルト(中央席) ●汎用型ISOFIXチャイルドシートリアアンカレッジ(リア左右席)＋トップテザーアンカレッジ(リア左右席) ●頸部衝撃緩和フロントシート ●リアヘッドレスト(3席) ●頭部衝撃保護インテリア ●運転席/助手席シートベルト締め忘れ警告ブザー●警告灯(シートベルトリマインダー付) ●LEDハイマウントストップランプ ●ダブホーン ●チルドルーフ ●半ドア警告灯